

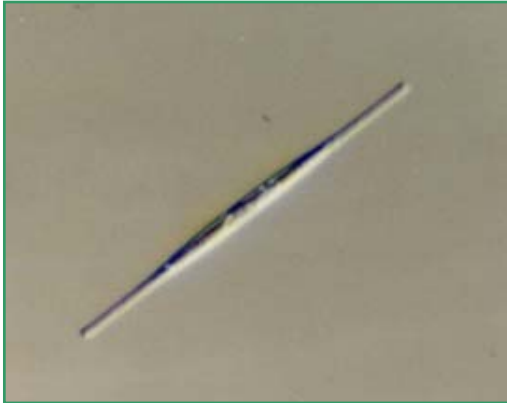
# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第48報 ～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成15年3月3日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

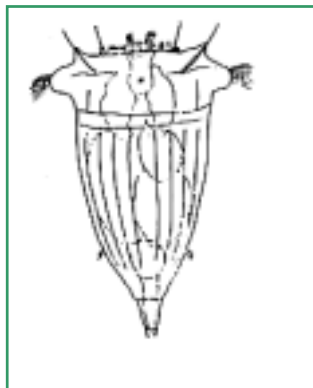
### 植物プランクトン第1優占種



*Nitzschia acicularis*  
(ササノハケイソウ)  
珪藻類

殻は細長く針状になり、両端は尖る。  
条線は微弱で見えにくい。

### 動物プランクトン第1優占種



*Synchaeta oblonga*  
(ナガマルドロワムシ)  
輪虫類

体は円錐形で足は短く、先端の爪は微小である。体長は225～345 μm。体側は縦の条線があるのが特徴である。

#### コメント

植物プランクトンは、今週もササノハケイソウが最も多かった。この珪藻は浮遊性のプランクトンで、各地の湖沼に出現し、富栄養化した水域に多いと言われている。動物プランクトンも先週に引き続き、ナガマルドロワムシが最も多かった。本種も湖沼のプランクトンとして普通に見られる種類である。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	70

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Tintinnidium fluviatile</i>	30

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成15年3月3日

第48報

## (2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	110		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas akrokomos</i>	10		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	210		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	10		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	720		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	160		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	40		
<i>Chroomonas coerulea</i>	180		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	160	11.3	5.3
(珪) 珪藻綱	960	67.6	59.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	1.4	1.1
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	16.9	31.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	40	2.8	2.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1420	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	5.26E+05
種 類 数	14		

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし \* 印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。